

新学術合同シンポ

11月22日

発表(分)質疑

13:00 分子夾雑の生命化学が目指すもの	浜地格 (京大)	30	10
13:40 酵素活性の網羅的解析 (enzymomics) による疾患関連タンパク質の探索	小松徹 (東大)	20	10
14:10 分子夾雑下検出に向けた人工細胞膜の機能化	神谷厚輝 (群馬大)	20	10
14:40 X線ブリッキング法による生物個体内の結晶化タンパク質および分子夾雑場観察	倉持昌弘 (茨城大)	20	10
15:10 細胞内夾雑環境の再構成	田端和仁 (東大)	20	10
休憩(10分)			
15:50 生命金属科学：生命の金属元素戦略の解明と応用	津本浩平 (東大)	30	10
16:30 生命金属動態の維持：植物のホウ酸トランスセプター	高野順平 (大阪府立大)	20	10
17:00 生命金属動態の破綻：金属タンパク質のミスフォールディングと神経変性疾患	古川良明 (慶應大)	20	10
17:30 生命金属動態の攪乱：亜鉛とマンガンのクロストーク	神戸大朋 (京都大)	20	10
18:00 生命金属の測定解析：有機及び無機質量分析法を用いたセレノメタボロームの解析	小椋康光 (千葉大)	20	10

11月23日

9:00 トランススケールスコープAMATERASが拓くシンギュラリティ生物学	永井健治 (阪大)	30	10
9:40 10万細胞の信号伝達を駆動する希少なシンギュラリティ細胞	堀川一樹 (徳島大)	20	10
10:10 認知症超早期病態の鍵を握るタウ蛋白質シンギュラリティ現象	佐原成彦 (量子研)	20	10
休憩(10分)			
10:50 細胞の動きからリーダー・フォロワー細胞ならびに細胞間相互作用の空間スケールを同定する	小松崎民樹 (北大)	20	10
11:20 シンギュラリティ生物学を実現する大量データの解析・保存・標準化	大浪修一 (理研)	20	10
11:50 閉会挨拶			